

# 梅海新道から朝日岳へ行く

夏山情報 7号

8/30,31

いよいよ、夏山情報の集大成。待望の梅海新道から、朝日岳へ登った。  
先日、白鳥山まで下見できたので、楽勝、楽勝と思いきや・・・  
日本海から、坂田峠までは、遠かった。・・・そこまでは素晴らしい道路がついているのに、歩くというのは、なんとも空しい。・・・前日は、ほとんど不眠だったので、やはり無理がたたって、途中、足にけいれんをおこした。  
天候も下り坂で、やむなく梅海山荘へ泊まる。〔実は、新築の梅海山荘がすばらしかったので、興味があった〕  
午後から降り始めた雨が、延々と続く、決断した梅海山荘での宿泊が大正解でした。  
しかし、日の出を見て出発のつもりが・・・雨が止みません。とりあえず撤退を決意しました。  
・・・ところが朝食を摂ってから、なんと雨が止みました。  
急遽、朝日岳へ進路を変更。いかにも晴れそうな天気でありました。・・・・・・  
でも、結局ここから朝日岳までの高い山では、ガス・霧雨のような中足元の梅雨で、結局最後は、雨の中と同じくらいに濡れてしまいました

・・・コースタイム

第1日目

親不知 4:30 - 梅海新道登山口 5:00 - 大平峠 6:00 - 坂田峠 7:00 - しき割の水場 8:00 -  
白鳥山 9:30 - 菊石山 10:30 - 黄蓮の水場 11:30 - 梅海山荘 12:00

第2日目

梅海山荘 6:20 - 犬が岳 6:30 - サワガニ山 7:20 - 黒岩山 8:20 - 黒岩平 9:20 - アヤメ平 10:20 - 長梅山 11:20 -  
吹き上げのコル 11:40 - 朝日岳 12:10 - 吹き上げのコル 12:30 - 五輪の森 13:10 -  
カモシカ坂 13:40 - 白高地沢 14:00 - 兵馬ノ平 15:20 - 蓮華温泉 15:50 - 糸魚川 17:50 - 親不知 18:30

今日の出会い・・・8/31 10:40頃

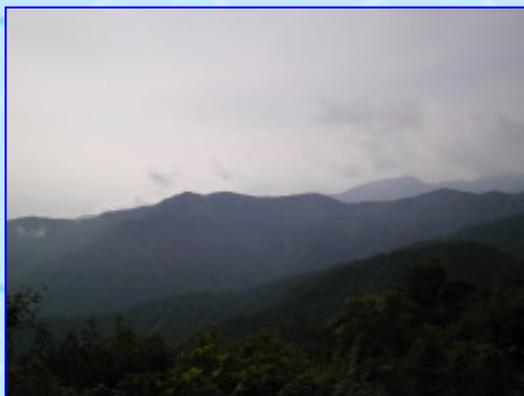
梅海山荘から朝日岳へ、唯一出会った 4人のグループ。頂いたお菓子がおいしかった。

ご馳走様でした。・・・白鳥山までは、出会ったのは4人だけ。

さすがに、この季節8月下旬は、人手が少ない。みなさん、写真のアップおくれてごめんなさい。・・・・



白鳥山へのちょっとしたアーケード。ちょっと白鳥小屋で休憩の後、梅海山荘へ。途中、登山者二人に追いつく。でも結局梅海山荘で宿泊したので、先に行かれてしまった。・・・



親不知の駐車場からマウンテンバイクで、登山口へ。長距離トラックが、がんがん通る・・・ちょっと怖いくらいだ。

白鳥山への案内は、夏山情報6号の方を見てください。写真は、しきわりの水場。



菊石山の頂上、右の写真は黄蓮の水場の手前、ブナの樹林。



アヤメ平、ここからは急に、黄色花も加わり、大変賑やかになってきた。ここらは、初夏から、いきなり秋になってしまうのでしょうか。



長栂山の2景。ここはガスで全く見えなかった。しかし、標識がしっかりしており、迷う心配はない。



この広さ・・・このような、ヘリポートまである避難小屋があるだろうか。  
この日誌、寄せ書き帳を見て、主催の「小野さん」を中心とした、サワガニ山岳会の活躍がよくわかりました。このような登山道は、3年ほって置くと、自然に帰ってしまうそうです。ボランティアの活動がなかったら、維持できないそうです。・・・みなさんカンパで協力しましょう。



吹上のコル蓮華温泉との分岐点。右の写真には、しっかりペンキで栂海新道と書かれている。



ようやく、朝日岳だ・・・ガスってなにも見えない。後は、一路蓮華温泉へ向かうのみ。  
ようやく、白高地沢出合いに着いた。



朝日岳がかすかに見える。でもちょっと、高いところがガスっているようだ。右は、さわがに山の頂上。



黒岩山の頂上。ほとんどガスで、周りが見えない。天気がよければ、景色がよいのだろうなあ。  
まもなく、途中「文子の池」。ここから湿原が始まる。  
あまり見られない種類の花が群落をなしている。上の花の写真参考。



黒岩平。ようやく溶け始めた雪渓の後に、初夏の花が咲き乱れている。  
花が今年もう終わりと言う情報だったが、ここは別天地だ。



第1日目

第2日目

予定が狂った・・・どうも、ちょっとコースタイムを間違ったようだ。なかなか、蓮華温泉まで着かない。兵馬の平、む・・・やばい、バスの時間は4:00なのに、まだまだほど遠い・・・ようやく、必死にたどり着いた。

最後の写真は、親不知からの夕日。



夜明けの犬ヶ岳。天候が次第に回復に向かうようだ。さすがに、休養充分、今日は元気だ。なんとか予定通り行けそうだ。

